



学び応援キャラクター「信州なび助」  
@長野県教育委員会

WWLコンソーシアム構築支援事業(個別最適な学習環境の構築に向けた研究開発事業)

# 個人と社会のウェルビーイングを目指して

一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び

日本三大車窓「姨捨」駅近くから眺む善光寺平

WWLコンソーシアム構築支援事業 SGHネットワーク 令和5年度連絡協議会

令和5年6月30日(金)

長野県教育委員会

Nagano Prefectural Board of Education 2023





# Our Talk

本日の内容

- 1 「探究県」長野が目指す教育×WWL
- 2 「個別最適」×「協働的」な学び
- 3 「信州IBLプロジェクト」 始動
- 4 今年度の計画







## Our Talk

- 1 「探究県」長野が目指す教育×WWL
- 2 「個別最適」×「協働的」な学び
- 3 「信州IBLプロジェクト」 始動
- 4 今年度の計画



# 長野県の高校教育が目指すもの

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～実施方針」（平成30年9月）より

- ① 自ら立てた問いに対し、チームとして協働しながら解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していくことができる資質・能力の育成。
- ② 「一度しかない人生を自分はどう生きたいか」という自分の人生を構想する力（キャリアデザイン力）の育成。
- ③ 信州に根ざした確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力の育成。

第1編 計画策定の基本的な考え方

<p><b>策定の趣旨</b></p> <p>教育を取り巻く環境変化や新たな課題が明らかになる中、改めて本県の教育政策の方向性を示すため第4次計画を策定する。また、変化が激しく予測が困難な時代において、その時々的情勢や課題に臨機応変に対応する必要があるため、具体的な施策は「実施プラン」としてまとめ、毎年度更新する。</p>	<p><b>計画の性格</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育基本法に基づく本県教育の振興に関する基本的な計画</li> <li>長野県総合5か年計画に対応する教育分野の個別計画</li> </ul>	<p><b>計画の期間</b></p> <p>2023年度～2027年度の5年間</p>
--	--	--

第2編 長野県教育を取り巻く状況等

社会背景・情勢	現状と課題	今後の方向性
<p><b>VUCA (変動・不確実・複雑・曖昧) 時代</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍による学校生活の変化 (臨時休業・分散登校等)</li> <li>地球温暖化による気象災害の多発</li> <li>様々な分野でのグローバル化の進展</li> <li>国際情勢の不安定化(ウクライナ等)</li> <li>Society5.0時代の到来 (一人一台タブレット端末整備等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識技能の偏重</li> <li>新しい価値や時代を創造する資質能力の必要性の高まり</li> <li>経済格差による学びの機会の格差</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究を中核とした学校づくり</li> <li>生涯にわたって主体的に学び続け探究し続ける力の育成</li> <li>デジタルの力も最大限活用した個別最適な学習環境の創出</li> </ul>
<p><b>多様性の時代</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの多様化 (R4.8 内閣府資料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校35人学級:発達障害7.7%、IQ130以上2.3%、不登校(傾向含)12.8%</li> <li>不登校児童生徒の増加(小中学校1,000人当)               <ul style="list-style-type: none"> <li>H29:15.3人→R3:29.8人</li> </ul> </li> <li>通級等指導教室利用児童数(小学校)の増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>H29:495人→R3:769人</li> </ul> </li> <li>小中学校の就学援助受給率の上昇               <ul style="list-style-type: none"> <li>H29:11.20%→R2:11.37%</li> </ul> </li> <li>通信制高校生徒数の増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>H29:4,306人→R4:7,048人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校以外を居場所とする子どもの学びの場充実のニーズ</li> <li>学校が担う分野・機能の多様化、業務量の増大</li> <li>社会性、コミュニケーション能力の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利・安全の保障</li> <li>障がいのある人も無い人も共に尊重される一人ひとりのニーズにあわせた公正な学びの提供</li> <li>学校を分野・機能ごとに多層構造・役割分担化</li> </ul>
<p><b>人口減少・少子高齢化時代</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども数の減少(0歳～18歳)           <ul style="list-style-type: none"> <li>H29:342,702人→R4:307,339人(△35,363人)</li> </ul> </li> <li>教員数の減少           <ul style="list-style-type: none"> <li>小中:H29:11,801人→R3:11,655人</li> <li>高:H29:3,776人→R3:3,538人</li> </ul> </li> <li>学校数の減少           <ul style="list-style-type: none"> <li>小:H29:366→R4:355 中:H29:187→R4:185</li> </ul> </li> <li>教員志願者数の減少           <ul style="list-style-type: none"> <li>H29:2,551人→R4:1,949人</li> </ul> </li> <li>平均寿命の伸長           <ul style="list-style-type: none"> <li>男性:H29:82.24→R2:82.65</li> <li>女性:H29:88.17→R2:88.95</li> </ul> </li> <li>高齢化率の上昇           <ul style="list-style-type: none"> <li>H27:30.1%→R4:32.7%</li> </ul> </li> <li>過疎地域割合の増加           <ul style="list-style-type: none"> <li>H27:48.1%→R4:51.9%</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係の固定化</li> <li>リアルな体験活動の減少</li> <li>生涯にわたって誰もが活躍できる場の不足</li> <li>人とのつながりの希薄化</li> <li>人口減少地域における学びの質の維持困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者との対話と協働</li> <li>様々なリソースを活用した学校の地域拠点化</li> <li>専門性をもった多様な教職員集団の形成</li> <li>多様な体験機会の充実</li> <li>地域コミュニティの基盤強化</li> </ul>

第3編 これからの長野県教育のあり方

目指す姿	政策の柱	政策及び主な施策(案)	成果指標
<p><b>個人と社会のウェルビーイングの実現</b></p> <p>一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び</p>	<p>一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる</p> <p>一人ひとりの「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (多様な認知・発達特性に応じた個別最適の追求、障がい特性に応じたデジタルを活用したサポート体制の構築、高校オンライン授業の単位認定研究、ICT機器の先進的な活用実践、中山間地域等の遠隔授業支援、義務教育遠隔教育特例校制度要件緩和(国への提言))</li> <li>学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 (学校における個別最適な学びの具体化の研究、学校長の裁量拡充、生徒主体の科目選択の実現、地域連携コーディネーター設置検討)</li> <li>探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実・教職員の資質向上 (民間等と連携した「探究」研修プログラム開発、国内外の新たな知見や視点が得られる研修)</li> <li>教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 (外部人材活用、欠員・代替教員確保策の検討、サポート人材拡充、業務のDX化、【再掲】地域連携コーディネーター設置検討、【再掲】新たな地域クラブ活動への移行支援)</li> <li>これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進 (再編・整備、学びの改革(DX推進、文理融合等)、WWLコンソーシアム構築の推進、海外留学支援、外国語教育の充実、長野県スクールデザイン(NSD)プロジェクトによる新しい学びにふさわしい学習空間整備)</li> <li>信州教育の魅力向上・発信 (教員志願者確保、生徒の全国募集)</li> <li>子どもの権利・安全の保障 (不登校児童生徒へのオンライン学習支援、長期入院生徒へのオンライン学習支援、義務教育通信学校設置(国への提言))</li> <li>多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 (夜間中学・不登校特例校設置検討、フリースクール等学校外の学びの場との連携、経済状況等に左右されない学びの機会の保障、【再掲】地域連携コーディネーターの設置検討)</li> <li>インクルーシブな教育の一層の推進 (【再掲】多様な認知・発達特性に応じた個別最適の追求、通級指導による学びの保障、副学籍校の取組推進、NSDプロジェクトによる学びに合った学習空間の創出、特別支援学校におけるエビデンスに基づいた行動支援の充実、【再掲】障がい特性に応じたデジタルを活用したサポート体制の構築)</li> <li>一人ひとりの特性に応じた学びの追求 (【再掲】多様な認知・発達特性に応じた個別最適の追求、【再掲】障がい特性に応じたデジタルを活用したサポート体制の構築、【再掲】特別支援学校におけるエビデンスに基づいた行動支援の充実)</li> <li>福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援 (スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー体制強化、学校施設の有効活用検討(空き教室に子ども食堂等))</li> <li>共学共創による地域づくり (NSDプロジェクトによる協働的な共創空間の創出、共学共創プラットフォームの構築、【再掲】外部人材活用、【再掲】地域連携コーディネーター設置検討、【再掲】新たな地域クラブ活動への移行支援)</li> <li>生涯を通じて学ぶことができる環境づくり (高校の地域拠点化、大学等の立地促進、社会教育施設のデジタル基盤強化、電子図書館サービスの充実、働く・子育て世代などの学び直しの場拡充)</li> <li>文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実 (新たな県史編さんの検討や県立歴史館の機能充実、図書館歴史館等所蔵デジタル化、地域スポーツクラブ活動体制の整備支援、新たな地域クラブ活動への移行支援)</li> <li>「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功に向けた準備の実施、競技力向上 (大会(準備)実行委員会による準備・事業の実施、子どもから大人まで一貫した指導体制の構築、医科学サポート体制の充実によるアスリート支援と県内全域への普及促進)</li> </ul>	<p>学校現場をはじめ様々な学びの場で活用できる、コンセプトブックや動画を作成。</p> <p>具体的な取組や成果の点検評価は「実施プラン」や「評価書」として毎年度更新。</p> <p>定量的な「客観的指標」に加え、幸福感や自己実現・自己受容、協同性・向社会性といった主観に基づいた要素の測定を「主観的指標」として設定し、ウェルビーイングの実現度合いの実態的な把握を検討。</p>



## 構想名：「SDGs未来都市長野」から世界へ繋げる信州版ALネットワーク



「いのち」を視点に、統合的・全体的アプローチからSDGsを探究するALネットワークを構築することで、地方公立高校の生徒たちに単独校では得られない教育の機会を提供し、時間や場所等の条件を超えて、自らのアクションにより新しい価値や社会を主体的に創造できるグローバル・リーダーの育成を目指す。

### 探究的な学び・STEAM カリキュラム開発 | 企業等との連携 | 海外留学・高校生国際会議

#### グローバルスタディーズ

教科等横断的な視点からの社会課題への統合的アプローチによる地球市民としての感性・価値観醸成

##### グローバルスタディⅠ

グローバル課題へのテーマ設定及び課題解決能力育成

##### グローバルスタディⅡ

自己課題の研究推進による国際的な対話力及び世界への発信力涵養

##### グローバルスタディⅢ

キャリアに応じた課題研究の深化及び学びの集大成として政策提言

**デザインシンキング**  
課題研究テーマの見つけ方

**KDDI 協働開発**

#### 県内連携校

## 15校

初年度9校から大幅増加  
海外連携校との継続的オンライン交流・研修

#### 「未来の学校」構築事業

先進的・先端的研究開発実践校を指定。  
※6校中連携校4校

スーパー探究校 信州グローバルハイスクール  
国際プログラム研究校 骨太リーダー育成  
マイプロ長野県Summit

創りたい未来へのアクションを起こす学びのプロセス  
**KDDI共創プロジェクト** 産官学連携

KDDIとの共創による生徒主体の特色ある取組実現

#### 信州つばさプロジェクト (県独自の留学支援 R4から再開)

##### 個人留学支援

個人の留学費用を支援 (R4渡航先:イギリス、ケニア、インドネシア等)

##### 短期海外留学研修

オランダ&スイス、カンボジア、マレーシア(県企画コース)  
カンボジア井戸プロジェクト(拠点校)  
個別海外研修(共同実施校)

信州WWL高校生国際会議—2022.6.11開催—

参加者数 **187名**

県内 100名  
県外 32名  
海外 55名

海外:台湾・アメリカ・カナダ・ニュージーランド・インド・タイ

##### 当日の内容

- 基調講演
- 分科会(発表・討論)
- 共同宣言採択

※エシカル消費、人権、教育、環境、貧困、水衛生の5分科会

##### 生徒実行委員会

ALネットワーク連携校から募集  
生徒主体の運営

**53名** **8校**  
実行委員の数 参加校数

#### 高大連携・AP構築

##### 信州大学

- 科目等履修生の受入れ (R4.9月~3月)
- 大学の単位認定可
- 15名受講(R4)
- R5は8科目で新たに募集

##### 長野県立大学

- 夏期集中講座「コミュニティデザイン各論I」で聴講生受入れ (R4~)
- 拠点校から3名受講(R4)
- 拠点校の単位として認定



- #### 3年間の成果
- 各校独自開発プログラムの共同実施による県内高校生への協働的・高度な学びの機会提供
  - 県独自学びのプラットフォームを活用した探究の深化と自らアクションを起こす生徒増加
  - オンラインを活用した国際交流や学校を超えて学び合う機会創出

- #### 来年度以降の課題
- 開発したカリキュラムの深化、オンラインの活用による全県的普及
  - ALネットワークを超えた交流促進、学び合う機会の充実
  - 留学生受入れ・海外研修本格再開。県独自事業による海外留学希望生徒への支援促進





## Our Talk

- 1 「探究県」長野が目指す教育×WWL
- 2 「個別最適」×「協働的」な学び**
- 3 「信州IBLプロジェクト」 始動
- 4 今年度の計画





### 新たな学びー「探究的な学び」の深化・充実

都市部の大規模校から中山間地域に散在する小規模校に至るまで、広い長野県において、希望するすべての高校生が学校の枠を超えて教科横断的な高度な学びを享受できる仕組みの構築



### 「誰一人取り残さない多様性を包み込む学び」の環境づくり

生徒1人1台端末の導入とICT環境の整備により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進し、すべての高校生に必要な資質・能力を育成する仕組みの構築

「第4次長野県教育振興基本計画」より





## 個別最適な学習環境の構築に向けた研究開発 長野県の研究項目



デジタルコンテンツを活用した  
オンデマンド配信方式の開発



オンラインによる同時双方向型の  
合同授業





# 「信州IBLプロジェクト」が紡ぐ探究県長野発世界へ繋げる学びのネットワーク

## 信州IBLプロジェクト (Inquiry-Based Learning)

一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」とことん追求できる「探究県」長野の学びを推進

### 高度な学びの享受による個別最適な学びの環境整備



### STEAM教育の推進



実社会の複雑な文脈における課題解決  
文理融合・教科横断的な学び 探究のプロセスを展開

### 新たな社会を創造する力の育成



### 個人と社会のウェルビーイング







## 提供校について



WWLカリキュラム開発拠点校  
SGHネットワーク校  
**上田高等学校**

WWL共同実施校  
探究科 進学型単位制

**松本県ヶ丘高等学校**

WWL ALネットワーク連携校  
「未来の学校」スーパー探究校

**野沢北高等学校**

WWLALネットワーク連携校  
学際コース導入(R5~)

**伊那北高等学校**

被提供校 

WWL ALネットワーク連携校

- 須坂高等学校
- 篠ノ井高等学校
- 屋代高等学校
- 上田染谷丘高等学校
- 諏訪清陵高等学校
- 諏訪二葉高等学校
- 飯田風越高等学校
- 飯田高等学校



## 協働機関



### KDDI株式会社

**包括連携協定締結**

オンライン環境整備、オンデマンド配信等にかかる助言



### Inspire High Inc.

**連携協定締結**

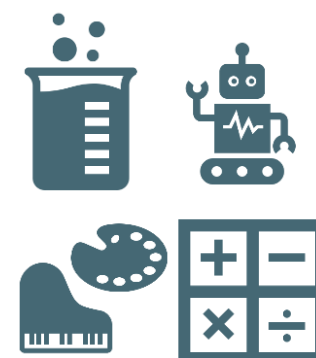
デジタルコンテンツの作成・改善に対する助言



### 信州大学

**高大連携**

高校生の大学における単位の先取り履修(R4.8～)



### 学びのイノベーションプラットフォーム

**STEAM教育事業推進社団法人**

ITシステムとして整備するコンテンツライブラリーのノウハウを助言







## Our Talk

- 1 「探究県」長野が目指す教育×WWL
- 2 「個別最適」×「協働的」な学び
- 3 「信州IBLプロジェクト」 始動
- 4 今年度の計画



## これまでの取組

### SHINSHU IBL PROJECT TIMELINE

4/12



#### 関係校管理職説明会

- 提供校4校・被提供校8校管理職参加
- 事業説明・質疑

4/13



#### KDDI(株)訪問

- 事業概要説明及び意見交換
- デジタルコンテンツ作成上の留意点について認識を深める


5月



#### まなび助ポータルサイト開設・試行

- 「探究的な学び」に係る県内の情報を一元化
- 探究基礎スキルに関する動画及びワークシートなどのコンテンツ掲載

5/25



#### アンケート実施

- 被提供校対象に実施
- 各校の探究学習の状況把握、活用が見込まれるデジタルコンテンツについて調査

6/15



#### 提供校担当者会議

アンケート結果の共有  
学習コンテンツ提供等に係る協議


4/6



#### 信州大学訪問

WWLを含んだ広い視野からの高大連携について情報共有及び協力依頼


4/21



#### 実施機関担当者会議

教育委員会事務局及び総合教育センター担当者による事業打合せ

5月



#### 提供校訪問

- 実施機関担当者による4校の提供校訪問
- 管理職及び担当教員との懇談。探究学習の取組と学習コンテンツ提供についての事前協議

5/8



#### PLIJ打合わせ

オンライン打合せ  
事業説明及び協力依頼


5月



#### 被提供校ヒアリング

担当者・管理職等に探究学習の状況や困り事などをヒアリング

5/26



#### 新任教頭研修における周知

事業説明・ポータルサイト紹介及びアンケート依頼







## 高校生の探究的な学びを支援するポータルサイト



生徒や教員が必要なコンテンツを一元的に共有できる**経済的**で**汎用的**な学習システムの構築





## 本事業に係るアンケートの実施

高度かつ汎用性のある学習コンテンツの提供に向けて

### 対象:

- 被提供校、新任副校長・教頭、総合教育センター関係者  
回答数のべ 61名(校)

### 内容:

- 各校における探究学習の指導内容及び課題
- 活用が見込まれる学習コンテンツやオンライン同時双方向型授業についての調査



## 現場の先生がたの声



デジタル学習コンテンツについて

各学校発のコンテンツを掲載・共有できれば作成した先生のモチベーションも上がる。

学校現場の指導する教員の視点から作られた動画教材があると良い。

先進的、先端的なものも有効と考えるが、逆に学び直し、基礎を振り返るコンテンツがあるとありがたい。

工業科では、他教科のようなデジタル教科書がないため、先生方個人でパワーポイントなどを毎回作成して授業に臨んでいます。それらを再編集し、集約することだけでもかなり状況は変化するのかなと思います。

コンテンツが充実してくれば、いわゆる反転授業などがやりやすくなると思います。

専門の教員がいなくても学習が成立するコンテンツになると助かる。







## 現場の先生がたの声



オンライン同時双方向型授業について

“ 同時双方向型の合同授業ができたなら、生徒の見る視点や考える視点が大きく変わりそうです。”

“ 最新の先端技術を学ぶための施設設備を導入するのは難しい。そのため、オンラインを活用し、世界や企業、大学などの先端技術に触れられるように、地方の学校こそ取り入れられると良い。”

“ 職業高校においては大学との連携を通して、より高度で専門的な知識や技術の習得、実際の現場での授業も必要なため、学びの方法が様々あることは、生徒の視野を広げ、より研究に深みが出ると考えられる。”

“ 他校との時間割の設定方法や、担当教員の関わり方の検討が今後必要か。”





# アンケートから 見えてきた課題

01

探究学習の体系的かつ

持続可能な指導体制の構築

02

探究的な学びを支える

「場」づくり





## ポータルサイトを作ってみました —好きな時に、好きな場所で—

まなび助ポータルサイト

ホーム オンデマンド教材 オンライン合同授業 その他

### メニュー



**オンデマンド教材**

探究学習の基礎について解説します



**オンライン合同授業**

探究マインドを働かせる教科横断型授業



**お役立ち資料**

探究スパイラルを回すためのアイデア



**学びの掲示板**

探究的な学びに関する情報を掲載



**交流ひろば**

探究についての情報交換ルーム



**For Teachers**

先生のための専用ページ

まなび助ポータルサイト

ホーム オンデマンド教材 オンライン合同授業 お役立ち資料 その他

### 学びの掲示板

**探究バディ募集中!**

学校の枠を超えて、同じテーマで探究する仲間と繋がりたいあなたへ

**マイプロジェクト始動!**

マイプロジェクト2023 スケジュール

参加申込はこちら

まなび助ポータルサイト

ホーム オンデマンド教材 オンライン合同授業 お役立ち資料 その他

### オンデマンド教材

#### 探究とは?

探究とは何を指すのでしょうか?

辞書によると「探究」は「物事の真相・価値・在り方などを深く考えて、態度をたどって明らかにすること」(三省堂大辞林)です。「探究」とは答えや求めるものがはっきり決まっていなくても深く思考することによって、検証したり問題解決を図ったりしながら自ら明らかにしていくことを意味しています。

ちなみに、「探究」は、英語では主に Inquiry と訳されます。動詞inquireの名詞形で「探し求める —an asking for information—」(oxford dictionary)という意味合いがあります。

**Why 探究?**





📖 学習デジタルコンテンツを作ってみましたー先生方の探究指導をサポートー

NAGANO WWL AL NETWORK KEY COMPETENCIES  
ALネットワークの学びを通して育てたい生徒像

長野県 探究的な学び CAN-DO リスト

**「社会の創造者」に関する資質・能力**  
混沌とした社会の中にある課題を見抜いて、テーマを設定し、チームとして共同しつづ、対立やジレンマを乗り越えて解を見つけ、アクションを通じて新しい価値や新しい社会を主体的に想像していくことができる

- 1 課題発見力: 世の中の事象から課題を見つけ出し、自分ごととして設定することができる
- 2 協働力: 人と協働してともに活動することができる
- 3 解をつくり出す力: 試行錯誤を繰り返す中から最適な解をつくりだすことができる
- 4 アクションを自ら起こす力: 問題解決のために、アクションを起こすことができる
- 5 新しい価値や社会を創造する力: 課題解決を通じて、新しい価値や社会を創し、世の中をよくしようという志を持っている

**「自分らしく生きる力」を培う資質・能力**  
社会（世界）との関わりの中で、「一度しかない人生を自分はどう生きたいか」という自分の人生を構想する力

- 6 自らの行動を振り返る力、レジリエンス: 自らの取組を評価し、失敗しても試行錯誤を繰り返し、努力し続けることができる
- 7 人生を構想する力: 課題に取り組む中で、自分の人生や生き方を構想することができる

**グローバルマインドを育む資質・能力**  
信州に根ざした豊かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力

- 8 地域に根ざしたアイデンティティ: 地域と積極的に関わりあうことができる
- 9 グローバルなマインドセット: 世界を見る視野を持ち、他者の多様な考えや価値観を理解し、受け入れることができる
- 10 世界に通じる教養: 幅広い知識と教養を身につけ、生涯にわたって学び続けることができる
- 11 世界に通じるコミュニケーション: 自分の考えを思いやりを持って伝え、人の考えを尊重し、恐れず対話することができる

信州WWL「ALネットワークで育てたい生徒像」から作成

第1回  
**探究とは？**  
Why we keep asking "why"?

1 探究とは何か？

探究する＝「自分」を知る

自分の好きな事、興味のあること、気になることを探究する → **自分を知る**

テーマを深掘りしたり、課題の解決策を考えること → **自分の在り方、生き方、社会における自分の役割について考える**

第2回  
**探究の「テーマ」と「問い」**  
How we find the research question?

2 探究の「テーマ」と「問い」

① テーマとは？  
これからの探究の方向性を大まかに指し示すもの。  
(例)「貧困」「環境」「SDGs」「格差」「国際協力」「地域活性化」等

② 「問い」とは？  
探究テーマに関連づけながら、具体的に何を探究していくかを示すもの。  
テーマについて深く調べ、探究を進めていくために「問い」を立てます。

**「問い」＝ 答えが知りたくなる質問**

第3回  
**ワクワクを分解してみよう！**  
Choose the topic and narrow it down

3 ワクワクを分解してみよう！

- ・課題大きすぎ問題: 大きな社会課題を集めた時に発生。
- ・課題遠すぎ問題: 距離のある国や地域の社会課題を集めた時に発生。
- ・課題見えない問題: 娯楽や趣味などのワクワクを集めた時に発生。

**ワクワクを分解してみよう！**

「探究基礎講座」動画コンテンツ「問いの立て方」シリーズ





## Our Talk

- 1 「探究県」長野が目指す教育×WWL
- 2 「個別最適」×「協働的」な学び
- 3 「信州IBLプロジェクト」 始動
- 4 今年度の計画**



# 「探究的な学び」を支える「場」づくり

既にある長野県の学びのプラットフォームを有機的に再構築



KDDI共創プロジェクト



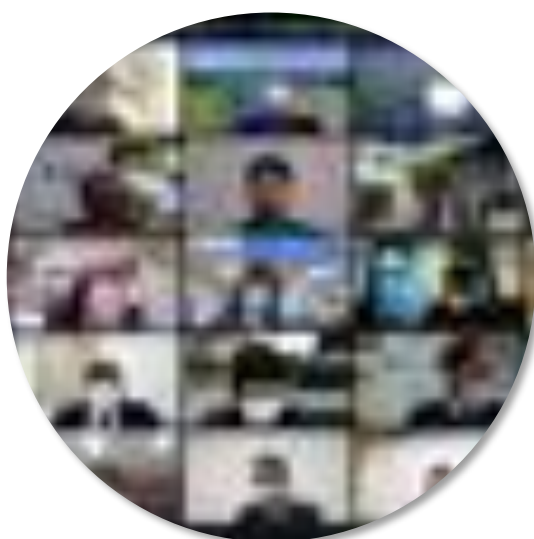
マイプロジェクト長野県Summit



信州つばさプロジェクト



JIBUN発旅するラボ



県立高校「未来の学校」構築事業



信州WWLALネットワーク





## 今年度の計画



### まなび助ポータルサイトの整備・試行

- ・教材指導資料などコンテンツのデジタル化
- ・情報プラットフォームとしての効果的な運用方法の研究



### オンライン同時双方向型授業の試行

- ・授業提供校と被提供校のマッチング
- ・授業配信環境の整備及び指導体制の研究



### 各校の「探究」を中核とした新しい学びを支援

- ・各校で開発された「特色ある学び」、「先進的な学び」を発信・共有
- ・同時双方向型授業の本格的実施に向けた時間割調整や教育課程編成の研究



個人と社会のウェルビーイングを目指して



Nagano Prefectural Board of Education 2023